

人の活躍ワーキング・グループ 報告書【概要】

～一人一人の多様な能力の最大発揮によるイノベーションの創造～

今後50年の間の大きな変化の中で、我が国が未来に向けた持続的発展を実現するためには、一人一人の「人」の力が不可欠。「人」を育て、その多様性を活かし、大切にしていくことで「人の活躍」を実現し、未来へ。

1. 人材育成

提言1: 人が活躍するために必要な力の養成

- 人としての「心」を育み、人間ならではの総合的な力を養成
- 総合的な力を基盤としつつ、分野横断的に必要となる汎用的なスキルと、特定分野ごとに必要となる専門的なスキルを相互に関係付けながら養成
 - ・ 一次情報に直接触れる野外活動等により「心」の成長
 - ・ 各学校段階の教育内容等の改善・充実、職業実践機会の拡充

提言2: 人材育成のための環境整備

- 社会全体で人の育ちを支える
 - ・ 働くことを身近に捉え、充実した人生となるよう、キャリア教育の戦略的推進
 - ・ グローバル化にも対応しうる創造性豊かな教員の養成
 - ・ 多様性に富んだ人材を受け入れ、活躍のチャンスを与え、力を引き出し、活かす社会的土壌の形成

2. 働き方とその環境

提言3: すべての人が活躍できる社会の仕組みづくり

- 「ポスト型の人事管理」や「同一労働・同一賃金」の考え方の取り入れにより、低賃金の働き方を解消し、正規雇用と非正規雇用の二極化から脱却
- 人の活躍のため、長時間労働を抑制し、ワーク・ライフ・バランスを実現
 - ・ 「職務」を明確化し、企業内外からその職務に適した人材を登用する「ポスト型の人事管理」と、「同一労働・同一賃金」の考え方を取り入れたベストミックスといえる雇用システムを目指す
 - ・ これにより、正規雇用と非正規雇用が二極化する現状を脱し、誰もがその能力を活かせる仕事に就き、高いモチベーションをもって働けるようにする
 - ・ 夫婦で働けば子どもを産み育てることができる所得水準の確保により、人口問題の解決にもつなげる

提言4: 若者、女性、高齢者の活躍

- それぞれの特性を踏まえた活躍の場の提供
 - ・ 就労に向けた多様な機会を用意し、若者の活躍を促進
 - ・ 女性は、イノベーションの担い手としても重要。社会の意識を変え、多様なキャリアパスを実現することで、女性の活躍を促進
 - ・ 個々の状況に応じた年齢に関わらない多様な社会参加等を可能とすることで、高齢者の活躍を促進

3. 豊かな生活とその基盤

提言5: 心身ともに豊かな生活の実現

- ICTなどを積極的に活用し、心身ともに豊かな生活を実現
 - ・ 健康維持、疾病予防の推進による健康寿命の延伸
 - ・ ICTを活用した医療・介護・生活の包括的なサービス提供などで、人生の最終章を安心して暮らせる仕組みを構築
 - ・ 社会的関係の面でも充足した豊かな生活の基盤の整備

一人一人の多様な能力の最大発揮によるイノベーションの創造

「人」を育て、その多様性を活かし、大切にしていすることで、
「人の活躍」を実現し、未来へ。

**多様性の中から
イノベーションを創造！**

【イメージ】

